



福岡県医第 807 号 (総)
平成 22 年 7 月 8 日

各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 松 田 峻一良
(公印省略)

「第 39 回医療功労賞」候補者の推薦について

標題について、福岡県保健医療介護部長より推薦方依頼がありました。医療功労賞は、へき地、離島等の過疎地域、都市の人口過密地域等、困難な環境の中で医療に携わり、国民の健康管理と増進のため、長年努力された方々の功績を表彰するものであります。

昨今では、交通事情の大幅な改善や医療をとりまく環境の変化に伴い、救急、難病、重度心身障害者施設などで献身的に活動されている方々も数多く受賞されております。

つきましては、該当者がありましたら候補者推薦書により 9 月 15 日 (水) までにご推薦いただきますようお願い申し上げます。

- 1) へき地該当地域の医師会 (無医地区・、無医地区に準じる地区) は、北九州市 (藍島) 京都 (みやこ町鎧畑・帆柱)、豊前築上 (築上町真如寺・極楽寺、築上町寒田・小山田、上毛町金代・中造)、福岡市 (小呂ノ島、玄海島)、粕屋 (新宮町相島)、宗像 (大島)、田川 (添田町深倉・上津野、福智町上弁城)、飯塚 (嘉麻市東畑、飯塚市君ヶ畑)、八女筑後 (黒木町平野・剣持・上鹿子尾、八女市下横山・尾久保、矢部村横手・落合・御側・竹原・山口、星野村柳・古塚・鹿里)、朝倉 (朝倉市江川・高木、筑前町三箇山、東峰村) となっておりますので、特に御高配賜りますようお願い致します。
- 2) 推薦される場合は、あらかじめ電話等でご連絡願います。また、下記ホームページからダウンロードすることもできます。
- 3) 該当者がいない場合もその旨ご連絡下さい。

記

- | | |
|--------|---|
| 1. 主 催 | 読売新聞社 |
| 2. 後 援 | 厚生労働省・日本テレビ放送網 |
| 3. 主 旨 | へき地・離島、等の過疎地域、都市の人口過密地域等地理的環境の厳しい中でまたは、重度心身障害者施設、緩和ケア病棟、救急医療、小児救急等の現場で医療業務に携わり、国民の健康管理・増進のため、長年努力された方々の功績を表彰。
なお、詳細は別添推薦要項により応募願います。 |

医療功労賞ホームページ

<http://info.yomiuri.co.jp/release/201006182554-1.htm>

1. 主 旨 日本の医療現場には、離島、山間、豪雪地帯など、自然条件との戦いを強いられる現場や、昼夜を問わぬ勤務が不可欠の重度心身障害者施設や各種専門医療施設など、今なお困難をとまなう現場が数多く存在しています。また国内だけでなく、劣悪な環境下にある発展途上国など海外でも、多くの日本人が我が身を省みず医療活動に取り組んでいます。こうした環境のもとで活動を続ける医療従事者は地域住民や社会にとってかけがえのない存在ですが、残念ながらその功績が報いられることはあまりないのが現状です。
- 「医療功労賞」は、このような厳しい環境のなかで活動を続け、顕著な実績を残した医療関係者に光を当てることを目的に昭和47年に創設され、これまでに全国表彰者624人、各都道府県表彰者3,842人を顕彰してまいりました。
- 医療技術の進歩に伴い、医療を取り巻く環境はめまぐるしく変化しています。そして、すべての人が適切な医療を受けられるよう努力されている医療関係者への期待は変わらないばかりか、ますます大きくなっています。本賞が、すべての困難な医療現場において、医療環境の整備、向上に尽力する人の活動への励みとなれば幸いです。
2. 表彰対象 困難な環境下で働いている医療関係者か、各地の専門医療施設で献身的な取り組みをしている人。
3. 表 彰 **【国内部門】** 各都道府県より中央選考委員会に推薦された人の中から、約15名。
※上記の表彰に先立って、各都道府県から中央選考委員会に推薦された人に対して、「都道府県医療功労賞」が授与されます。
- 【海外部門】** 海外で活躍している人の中から、中央選考委員会が特に功績を認めた若干名。
4. 賞 厚生労働大臣賞
読売新聞社賞
日本テレビ放送網賞
エーザイ賞
- 上記各賞のほか、副賞賞金100万円が受賞者に授与されます。
5. 発 表 平成23年3月上旬 読売新聞紙上
6. 表 彰 式 平成23年3月中旬 東京都内

推 薦 要 項

1 国内部門

1. 応募資格

- (イ) 困難な環境下か専門分野で、15年以上献身的に職務に励んで功績をあげた医療従事者で、現在も医療業務に従事している人。

主な具体例

- 離島やへき地、豪雪地帯など地理的環境の厳しい医療過疎地での医療。
 - 重度心身障害者施設、緩和ケア病棟（ホスピス）、ハンセン病療養施設等での医療。
 - 救急医療、休日・夜間診療、難病医療、小児医療、移植医療、介護医療、メンタルヘルスケアなどの現場。
- (ロ) 年齢は原則として50歳以上（平成22年10月31日現在）。
- (ハ) 過去に褒章、叙勲、厚生労働大臣表彰（医療功労賞＝本賞、保健文化賞、身体障害者自立更生者等の天皇皇后両陛下の拝謁を賜る表彰に限る）を受けていない者。
- (ニ) 過去の主な受賞者の職種は次の通り（ただし、以下に限定するものではありません）。

医師	歯科医師	保健師	助産師	看護師
准看護師	診療放射線技師	臨床検査技師（助手）		理学療法士
作業療法士	視能訓練士	臨床工学技士	義肢装具士	歯科衛生士
救急救命士	あん摩マッサージ指圧師	鍼灸師		管理栄養士
薬剤師	衛生検査技師	歯科技工士	ソーシャルワーカー	
児童指導員	医介輔（沖縄県のみ）	柔道整復師	言語聴覚士	
社会福祉士	介護福祉士	精神保健福祉士	ケアマネージャー	

2. 推薦手続き

- 1) 候補者を推薦する市町村、関係する団体または個人は、審査資料を記入要領（7，8ページ）に基づいて作成し、締め切り期日必着で裏面の各都道府県応募先に送ること。
- 2) 送付が必要な審査資料は、以下の通り（原本とコピーの各1部ずつを送付すること。パソコンで作成の場合、さらにデータの入ったディスクを添付すること。）
 - (イ) 候補者推薦書（所定用紙に記入したもののほか、Microsoft Excel形式の所定フォーマットによるデータ記入も可）
 - (ロ) 活動地域の地図
 - (ハ) その他、功績を判断する上で参考となる資料（新聞、雑誌の切り抜きなどの印刷物に限る）

※候補者推薦書など関係書類は、医療功労賞のホームページ（<http://info.yomiuri.co.jp/event/award/>）から取り出すことができる。

3. 締め切り 平成22年9月30日（木）（必着）

4. 各都道府県の手続き

- 1) 各都道府県知事は、市町村・関係機関の推薦をとりまとめ、選考の上、10月29日（金）までに以下の要領で候補者を中央選考委員会に推薦する。推薦の際、各都道府県知事は「推薦候補者個人表」（所定用式）に必要事項を記入し、推薦者欄に知事名を明記・押印の上、各市町村・関係機関からの書類（審査資料）と一緒に下記宛に郵送する。

〒104-8325 東京都中央区京橋2-9-2

読売新聞東京本社事業開発部「医療功労賞」事務局

電 話 03-5159-5886

FAX 03-5159-5878

2) 各都道府県の推薦枠

各都道府県知事が中央選考委員会に推薦できる候補者数の目安は

- 北海道 および 東京都：最大8名
- 大阪府 ：最大6名
- その他の府県 ：2名程度 とする。

3) 手続き上の留意点

(イ) 過去の都道府県医療功労賞受賞者の再推薦について

過去に都道府県医療功労賞を受賞し、中央（全国）表彰からはもれた者であっても、その後の活動状況が中央（全国）表彰にふさわしいと思われる場合、各都道府県は再推薦をすることができる。

(ロ) 「推薦候補者個人表」記入上の注意

- 本個人表は、市町村・関係機関から挙がってきた審査資料を元に、各都道府県が独自に調査を行って真実と認めた事項を記入すること。
- 【推薦理由】の項目は、推薦候補者の功績をできるだけ詳しく、具体的数字や過去のエピソードなどを挙げて記載すること。また、主たる功績が勤務地の地理的環境の厳しさによる場合には、その地理的環境を詳しく記載すること。
- 【山村振興法等適用状況】の項目には、推薦候補者の地理的環境を知る手がかりとして、山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法、離島振興法等の各法の適用の有無を明示すること（申請時点ではなく、活動時期の相当期間における適用状況）。

(ハ) 推薦手続きの効果

各都道府県から推薦を受けた医療従事者は、中央選考の候補者となると同時に、中央選考委員会の承認を経て「都道府県医療功労賞受賞者」となる。ただし、過去に「都道府県医療功労賞」を受賞している者は、再受賞できない。

(二) 候補者の個人情報

推薦にあたって記載される候補者の個人情報は、推薦者、都道府県を通じ、主催者、後援者および協賛社に渡される。個人情報は、選考、選考結果の通知、受賞式のお知らせ、報道、受賞者一覧（冊子）および協賛社の社内報の作成、ならびにホームページ上の公表のみに使用される。

推薦の際には、上記の件に関し候補者の同意を得ること。

2 海外部門

1. 応募資格

- (イ) 困難を伴う海外の医療、災害現場で、海外において通算5年以上（注）献身的に職務に励み、顕著な功績をあげた人。または通算10年以上、大使館やNGOなどで海外医療業務の助成に貢献した人。原則、日本国籍の方。

注：日本帰国中の期間は算入しない。ただし海外の医療、災害現場における業務の支援を行った場合は、この期間を含めることができる。

- (ロ) 国内を含めた医療業務歴が15年以上で、現在も国内外の医療業務に従事している人。
- (ハ) 年齢は概ね50歳以上（平成22年10月31日現在）。
- (ニ) 過去に褒章、叙勲、厚生労働大臣表彰（医療功労賞＝本賞、保健文化賞、身体障害者自立更生者等の天皇皇后両陛下の拝謁を賜る表彰に限る）を受けていないもの。
- (ホ) 職種は国内部門の応募資格に準ずる。（3ページの1の（二）を参照）
- (ヘ) 推薦候補者例を挙げると、次の通り。
- 海外の医療機関に長年勤務し、現地の保健医療向上に著しく貢献した人。
 - 厳しい自然環境や劣悪な交通事情の中で、または医療環境が未整備の地域で献身的に医療活動に従事している人。
 - 国際医療協力プロジェクトに、数次にわたり積極的に参加している人。
 - 大使館やNGOなどで医療の発展に貢献した人。

2. 推薦手続き

- 1) 候補者を推薦する団体または個人は、審査資料を記入要領（7，8ページ）に基づいて作成し、締め切り期日必着で下記宛てに送ること。

〒104-8325 東京都中央区京橋2-9-2

読売新聞東京本社事業開発部「医療功労賞」事務局

The Yomiuri Shimbun

2-9-2 Kyobashi, Chuo-ku, Tokyo 104-8325 Japan

- 2) 送付が必要な審査資料は、次の通り（原本とコピーの各1部ずつを送付すること。パソコンで作成の場合、さらにデータの入ったディスクを添付すること。）。

- (イ) 推薦候補者個人表（紙の所定用紙のほか、Microsoft Excel形式の所定フォーマットによるデータ記入も可）

注：【推薦者（知事名）】の項目には、推薦団体の長の名前を記し、押印すること。

- (ロ) 候補者推薦書（紙の所定用紙のほか、Microsoft Excel形式の所定フォーマットによるデータ記入も可）
- (ハ) 活動地域の地図
- (ニ) 海外へ在駐している期間が分かる資料（パスポート、ビザの取得書類、JICA等の国際協力を主とする団体等からの業務経歴の証明書の写し等）
- (ホ) 功績を判断する上で参考となる資料（新聞、雑誌の切り抜きなどの印刷物に限る）

※推薦候補者個人表や候補者推薦書などの関係書類は、医療功労賞のホームページ（<http://info.yomiuri.co.jp/event/award/>）から取り出すことができる。

3）推薦者は下記のいずれかの要件を満たすこと。

- (イ) これまで本賞の海外部門を受賞した者
- (ロ) 5年以上の海外の医療活動の実績を有し、かつ、法人格を有する団体（特定非営利活動法人を含む）の代表者またはそれに準ずる者
- (ハ) その他上記に準ずる者として事務局が認めた者

3. 締め切り 平成22年10月29日（金）

4. 手続き上の留意点

- (イ) 過去に推薦を受け、中央（全国）表彰を受けなかった者の再推薦について
その後の活動状況が中央（全国）表彰にふさわしいと思われる場合、再推薦をすることができる。
- (ロ) 「推薦候補者個人表」記入上の注意
 - 【推薦理由】の項目は、推薦候補者の功績をできるだけ詳しく、具体的数字や過去のエピソードなどを挙げて記載すること。また活動地域の地理的・文化的環境や治安を詳しく記載すること。
 - 【山村振興法等適用状況】の項目は、記載不要。
- (ハ) 候補者の個人情報

推薦にあたって記載される候補者の個人情報は、推薦者を通じ、主催者、後援者および協賛社に渡される。個人情報は、選考、選考結果の通知、受賞式のお知らせ、報道、受賞者一覧（冊子）および協賛社の社内報の作成、ならびにホームページ上の公表のみに使用される。

推薦の際には、上記の件に関し候補者の同意を得ること。

候補者推薦書記入要領、注意事項

推薦書は以下にしたがって簡潔に記入し、記入する事項がない場合には空欄にすること。

【候補者推薦書・推薦候補者個人表 共通】

- 1) 「写真」は正面、脱帽のもの。新聞紙面に使用する場合もあるので証明写真が望ましい。
裏面に氏名、都道府県名を記入すること。
写真は「候補者推薦書」「推薦候補者個人表」の2枚に貼付する。
- 2) 「医療従事年数」には推薦する活動を始めた年度から、推薦する活動が終了した年度までの期間を通算して記入すること。
- 3) 「勤務先」は候補者が勤務する医療機関の住所と名称を記入し、役職があれば記入する。
- 4) 「推薦理由」は候補者推薦のもっとも大きな理由を簡潔に記入すること。なぜ本賞の候補者にふさわしいと思われるのか、活動の継続性、困難性、地域への貢献などといった側面から記入する。なお推薦候補者個人表の推薦理由は200字以上400字以内で記入する。
- 5) 数字は洋数字で記入する。パソコンで作成する場合は、半角サイズの洋数字で入力する。

【候補者個人表】

- 1) 「山村振興法等適用状況」については、活動期間中の法適用状況を確認すること。
現在の活動地域が法適用外地域でも、過去に活動していた地域が該当すれば○をつける。
- 2) 「叙勲、褒章、都道府県医療功労賞などの受賞歴」は何の分野での表彰か明記する。
(例えば都道府県知事表彰、保健衛生功労など)
- 3) 「推薦者」(知事名)の欄には忘れずに知事印を捺印すること。
- 4) 直接の担当者の部署、氏名、都道府県庁住所、電話番号、FAX 番号を記入する。

【候補者推薦書】

- 1) 「推薦者役職・氏名」の欄には以下のように記入すること
 - (イ) 団体が推薦する場合は、推薦団体(※)の名称および代表者の役職と氏名を記入する。
(※) 地方自治体、医療関係団体、医療施設 など
 - (ロ) 個人が推薦する場合には、推薦者の職業および氏名を記入する。
 - (ハ) 2つ以上の団体または個人が推薦する場合はこの欄に併せて記入する。なおこの場合には推薦団体または推薦者ごとに提出する必要はない。

- 2)「活動地域の環境」については以下のように記入すること。
- (イ) 「活動地域」には候補者の主な医療活動の地域、市町村名を記入すること。また活動地域が複数にまたがる場合はその全てを記入する。
 - (ロ) 「山村振興法など適用状況」は山村振興法、過疎地域自立促進特別措置法、豪雪地帯対策特別措置法、離島振興法に定める地域に該当する場合には○で囲む。またこれに準ずる「医療環境の厳しさ」を示す地域指定があればその旨と準拠法令名を「その他」欄に明示する。活動期間中の法適用状況を確認すること。
現在の活動地域が法適用外地域でも、過去に活動していた地域が山村振興法などが適用されていた地域であれば該当欄にチェックをつける。
- 3)「賞罰歴」には年月順に以下のように記入すること。
- (イ) 「年月」には賞罰をうけた年月を記入する。
 - (ロ) 「事項」には賞罰の名称を記入する。
 - (ハ) 「主体」には表彰した団体名を記入する。なお、主体が国または地方公共団体である場合には、大臣、局長、知事、市町村などの区別を明確に記入する。
また何の分野での表彰か明記する。(例えば都道府県知事表彰、保健衛生功労など)
- 4)「職歴」は年月、事項および勤務期間に区分して記入すること。団体または組織などの役職も併せて記入する。
- 5)「推薦活動についての主な業績」には、医療活動の業績の年月、活動場所、内容について詳細に記入する。特に海外部門では、海外に滞在していた期間を明記すること。(○年○月～○年○月、計○年○か月滞在) 海外渡航が複数回の場合にはすべて記入する。
- 6)「主たる活動内容」にはこれまでの活動からとくに顕著な功績などをエピソードをまじえて記入すること。
- 7)「今後の活動計画の概要」については候補者が今後どのような活動をしていきたいと思っているのか記入すること。書ききれない場合には別紙を添付すること。
- 8)候補者の個人情報の取り扱いに関し、候補者の同意を得て署名をもらうこと。

【問い合わせ】

読売新聞東京本社事業開発部

「医療功労賞」事務局

TEL : 03-5159-5886

FAX : 03-5159-5878

URL : <http://info.yomiuri.co.jp/event/award/>

第38回 医療功労賞

平成21年度

〈国内部門〉



小松 義典 61歳 歯科医師 秋田県

学校歯科医などを務め、四半世紀にわたり地域の子どもの歯の健康を支えてきた。母校・日本歯科大の医局勤務を経て、1985年に故郷で開業。歯科保健指導に地道に取り組み、全国平均を上回っていた地域の子どもの虫歯を減らした。「虫歯も歯周病も食習慣を含んだ生活習慣病」が持論。きめ細かな助言で健康に心を砕く。
〈秋田県由利本荘市〉



板垣 啓子 60歳 保健師 山形県

山形市職員として保健衛生分野で活躍し、運動と食事の両面から市民の健康を支えてきた。1991年には独自に健康運動指導士の資格を取得。県内での先駆けとして運動普及推進員の養成を手がけ、その修了生による県内初の協議会の設立に尽力した。小児の救急医療の検討会も重ね、夜間診療所での診療体制整備にも取り組んだ。
〈山形市〉



清水 千世 52歳 看護師 福島県

30年以上がん患者などの看護にあたり、終末期医療の現場を支えてきた。1990年には、当時全国でもまだ珍しかった緩和ケア病棟の開設に貢献。講演活動や研修生の受け入れ、在宅緩和ケアボランティアの養成などにも力を尽くした。またホスピスでの経験を生かし、中高生への出前講座で「命の大切さ」を教えている。
〈福島県郡山市〉



鈴木 芳男 88歳 医師 茨城県

茨城県北西部の病院で57年近く地域医療に尽くしてきた。生まれ育った無医村で小学生の頃父を胃がんで亡くし医師の道へ。母校・東北大の付属病院勤務などを経て31歳で帰郷した。当時、地域で唯一入院できる病院として多くの患者に頼りにされ、学校の校医なども歴任。「医者是天職。100歳まで現役を」と今も診療を続ける。
〈茨城県常陸大宮市〉



林 美恵子 63歳 精神保健福祉士 栃木県

佐野厚生総合病院（栃木県）で約40年間、医療ソーシャルワーカーとして精神科を中心に相談業務に携わった。在宅療養やリハビリなど、多岐にわたる患者や家族の不安・悩みと向き合い、痛みを分かち合ってきた。行政とも連携を図り精神障害者福祉制度の拡充にも奔走。正しい知識の普及や後進の人材育成にも心を砕いている。
〈栃木県佐野市〉



吉武 泰俊 67歳 医師 神奈川県

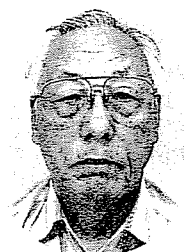
神奈川県で開業医として昼夜を問わず献身的な診療にあたり、旧津久井郡医師会役員として地域医療発展にも尽力した。慶大医学部卒業後、勤務医を経て1986年に旧城山町（現相模原市）で開業。休日の1次救急や夜間当番診療などに心を砕いた。医師会では合併の調整役や「かかりつけ医」制度の推進役として大きく貢献した。
〈神奈川県厚木市〉



さか ぐち えみこ 坂口 恵美子 75歳 助産師 福井県

助産師として半世紀にわたり活躍し、母乳育児の普及に努めてきた。痛みを伴わず母乳がよく出る乳房マッサージの手技を習得するため県外での研修に通うなどの努力を継続。チラシ配布や研修会を通して、普及させた。25年前に福井赤十字病院を退職した後は助産所を開業。毎年のべ約4000人の育児指導に携わり、母親たちを励ます。

<福井市>



かね こ いさむ 金子 勇 78歳 医師 長野県

千葉大医学部在学中から農村医学に興味を持ち、28歳で無医村対策の出張診療所に赴任。農山村での保健医療活動に情熱を傾けた。昼夜を問わず往診に奔走する一方、住民組織を設立し、寄生虫や高血圧対策、母子保健にも尽力。関係機関と連携し農山村医療の調査研究にも力を注いだ。「医療は脇役。基本は人の生命力」が持論だ。

<長野県阿南町>



かね まつ なお や 金子 松 直也 77歳 医師 長野県

中央アルプス近くの中山間地にある長野県立木曽病院で、40年以上精神科医療を支えた。「家庭が病室」と、外来診療が終わった午後、自ら患者の家を訪問。その回数は年間200回に及び、昼夜を問わず患者の電話にも応対した。人口減少と高齢化が進む地域で、現在も診察や行政への指導などを通じ住民の心の支えとなっている。

<長野県木曽町>



ね ごろ とし お 根来 寿 夫 80歳 医師 和歌山県

38年前に開業して以来、地域に密着した医院として住民に親しまれてきた。60歳までは産科医として従事し、勤務医時代を含め、延べ約6000人の出産に立ち会ってきた。今も小学校の校医や地元企業の産業医、警察の嘱託医などを務める一方、毎晩専門書をめくり、その日診た患者のカルテを読み返すなど、精進を欠かさない。

<和歌山県湯浅町>



いし ぐち ふさ こ 石口 房子 58歳 看護師 広島県

広島市で訪問看護の草分けとして活躍し、末期がん患者らの緩和ケアにも熱心に取り組んできた。30歳で訪問看護に携わり、在宅医療の体制整備の必要性を痛感。15年前に勤めていた病院を辞め、緩和ケア病棟の整備を求める運動に取り組む一方、自ら訪問看護ステーションを設立。主治医らと連携して在宅ホスピスにも情熱を傾けている。

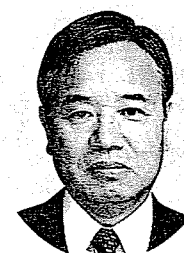
<広島市>



しら かわ かず とよ 白川 和 豊 61歳 医師 香川県

現在院長を務める三豊総合病院（香川県）で25年近く外科医として勤務。終末期医療にも心を砕き、10年前には県内初の緩和ケア病棟の開設に尽力した。患者の意思と「尊厳」に常に気を配る。救急医療でも「地域医療連携協議会」を開催し、地域の診療所医師の当直応援を実現させるなどの取り組みを意欲的に進めている。

<香川県観音寺市>



い せい し 井 清 司 59歳 医師 熊本県

熊本赤十字病院の救命救急センター長兼集中治療部長として最前線で指揮を執る。すべての救急患者を受け入れる北米型ER（救急治療室）として知られ、年間受け入れ数5万～6万人という過酷な現場でスタッフ確保や指導に心を砕く。阪神・淡路大震災のほか、台湾、インドなど海外の被災地でも救護活動にあたった経験を持つ救命のプロだ。

<熊本市>



ふじ い まゆみ 藤井 満由美 51歳 理学療法士 大分県

別府発達医療センター（前・別府整肢園）で30年にわたり、子どものリハビリテーションに携わってきた。子どもの理学療法研究が進んでいない頃から、手探りで研究を重ね、年齢や症例別の対処法を確立。県内での小児リハビリの草分けとして活躍してきた。幼稚園、養護学校への支援や後進の育成にも精力的に取り組む。

＜大分県別府市＞



うえ ち とも ひろ 上地 智博 54歳 歯科医師 沖縄県

1986年に沖縄県で歯科医院を開業以来、地域の特別支援学校の歯科校医や福祉施設の嘱託歯科医を務め、障害者の歯科保健医療に貢献してきた。2003年から県障害者地域協力医研修会を開催。県や障害者支援団体と連携し、医療のノーマライゼーション（共生化）に取り組み、自ら開業する歯科医院で障害者雇用にも尽力した。

＜沖縄県八重瀬町＞

＜海 外 部 門＞



なか の たかし 中野 貴司 51歳 医師 ガーナ・中国他

疫学専門の小児科医として、世界各地で診察や調査研究、指導に活躍してきた。28歳で赴任したガーナでは村々で小児や妊婦の検診に奔走。15年前にはポリオ対策のため中国に赴き、粘り強くワクチン普及などに努めた。青年海外協力隊技術専門委員としてニジェールやケニアでも指導にあたるなど、多方面で実績を残している。

＜三重県鈴鹿市＞



ふじ た ちよこ 藤田 千代子 51歳 看護師 パキスタン・アフガニスタン

パキスタン、アフガニスタンで医療支援などに取り組む民間活動団体「ベシャワール会」に所属し、20年近く看護や現地スタッフへの指導、病院の管理運営などに活躍した。特にイスラム教圏では数少ない女性医療従事者として、ハンセン病の女性患者への支援や女性スタッフの養成などに尽力。患者や病院関係者の信頼を集めた。

＜福岡市＞

第38回 都道府県医療功労賞 平成21年

〈地区〉 〈都道府県名〉 〈氏 名〉 〈年令〉〈業種〉

北 海 道	北海道	岡田しげひこ	58	理学療法士
		岩 村 光 子	61	看 護 師
		水 関 清	54	医 師
		泉 里 允 勇	69	医 師
		藤 井 陽 子	57	看 護 師

東 北	青 森	伝法谷八千代	84	歯科医師
		竹 原 照	66	看 護 師
	岩 手	高鼻美智子	50	保 健 師
	宮 城	藤 原 三 郎	88	歯科医師
	秋 田	浅 野 有 喜	76	医 師
		小 松 義 典	61	歯科医師
	山 形	多 田 良 子	58	保 健 師
		板 垣 啓 子	59	保 健 師
	福 島	小 林 康 乃	67	助 産 師
		清 水 千 世	52	看 護 師

関 東	茨 城	鈴 木 芳 男	88	医 師
		石 邦 輔	71	医 師
	栃 木	林 美 恵 子	62	精神保健福祉士
		岡 林 栄 枝	89	歯科医師
	群 馬	高 嶺 一 雄	66	医 師
		山 口 保 男	69	歯科医師
		遠 藤 敬 一	70	医 師
	埼 玉	山田まり子	55	看 護 師
		橋 本 啓 一	71	医 師
	千 葉	前 田 昌 利	78	医 師
		渡 邊 三 郎	56	医 師
		高 木 き く	71	保 健 師
		宮 前 信 彦	57	理学療法士
	神奈川	吉 武 泰 俊	67	医 師
		廣 井 基 祥	70	医 師
		仲 か よ	62	助 産 師

東 京	東 京	菊 岡 豊 二	83	医 師
		嶋 原 操	60	助 産 師
		リタ・ボルジー	57	看 護 師

〈地区〉 〈都道府県名〉 〈氏 名〉 〈年令〉〈業種〉

中部・北陸	新 潟	谷 守 正	59	医 師
		松 浦 ユ リ 子	55	看 護 師
		山 田 春 美	54	保 健 師
	富 山	二本垣まち子	76	医 師
	石 川	波佐谷兼綱	66	医 師
	福 井	坂口恵美子	74	助 産 師
		藤 井 了 湖	70	歯科医師
	山 梨	小田嶋弘明	77	医 師
		窪 田 重 美	70	医 師
		西 野 義 久	67	医 師

東 海	岐 阜	熊 谷 恒 朗	72	医 師
		松 波 英 寿	53	医 師
	静 岡	高 木 幸 代	50	保 健 師
	愛 知	夏 目 忠	62	医 師
	三 重	高 山 文 博	59	理学療法士

大 阪	大 阪	中 村 雅 一	70	臨床検査技師
-----	-----	---------	----	--------

近 畿	滋 賀	小 笹 宏	61	医 師
	京 都	古 橋 進	59	言語聴覚士
		塩 見 芳 朗	59	医 師
	兵 庫	中 川 巖	75	医 師
		本 玉 み ゑ 子	84	助 産 師
	奈 良	門 脇 明 仁	52	理学療法士
	和歌山	隠 岐 和 彦	80	医 師
		根 来 寿 夫	80	医 師
		豊 澤 浩	69	医 師

中・四国	鳥 取	篠原顕一郎	72	医 師
	島 根	春日正己	60	医 師
	岡 山	青 野 良 寛	66	医 師
	広 島	三 原 昭 美	74	医 師
		石 口 房 子	57	看 護 師
	山 口	末 永 和 之	62	医 師

〈地区〉 〈都道府県名〉 〈氏 名〉 〈年令〉〈業種〉

中・四国	山 口	森 國 秀 美	53	看 護 師
		鈴木英太郎	69	医 師
	徳 島	稲 井 道 子	65	助 産 師
	香 川	白 川 和 豊	61	医 師
		清 水 光 芳	60	理学療法士
	愛 媛	尾 倉 英 雄	72	歯科医師
		村 上 始	53	歯科医師
	高 知	大 倉 三 洋	68	理学療法士

九州・沖縄	福 岡	北 野 精 子	51	准看護師
		中 村 義 太	85	医 師
		松 本 壽 通	79	医 師
	佐 賀	蒲原知愛子	59	保 健 師
	長 崎	井 上 芳 朗	83	医 師
		米 山 宏	66	歯科医師
	熊 本	井 清 司	59	医 師
		後 藤 善 隆	59	医 師
		竹 崎 倫 子	62	看 護 師
	大 分	藤井満由美	51	理学療法士
	宮 崎	上田のぶ子	60	助 産 師
	鹿児島	稲 純 一	83	医 師
		阿久根廣一	74	医 師

沖 縄		末 満 純 一	58	医 師
		上 原 広 子	58	看 護 師

		上 地 智 博	54	歯科医師
--	--	---------	----	------

第37回 医療功労賞 平成20年

国内部門

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
北 海 道	北海道	池 田 裕 次	62	医 師	中 ・ 四 国	島 根	江田伊勢松	58	医 師
						島 根	萬 代 恵 治	57	医 師
						広 島	村上不二雄	83	医 師
東 北	青 森	奥 い と	65	准看護師		山 口	江村陽子	61	看 護 師
	宮 城	中 川 久 秀	64	柔道整復師		徳 島	足 立 克 仁	59	医 師
						香 川	下 名 茂	59	看護助手
関 東	茨 城	岩 佐 一 男	79	医 師	九州・沖縄	長 崎	中 野 文 耕	60	医 師
	千 葉	山 田 茂	59	医 師		鹿児島	土 持 喬	69	医 師
	神奈川	山 本 詩 子	52	助 産 師					
中部・北陸	福 井	松 田 昭	80	歯科医師	海外部門				
					ブラジル		山 本 恵 一	80	医 師
近 畿	和歌山	西 本 利 吉	75	医 師					

第37回 都道府県医療功労賞 平成20年

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
北 海 道	北海道	池 田 裕 次	62	医 師	関 東	埼 玉	石 原 清 二	50	看 護 師
		川 本 京 子	59	保 健 師		千 葉	小 張 淑 男	71	医 師
		澤 田 成 子	58	看 護 師			杉 田 敏	62	消化器内視鏡技師
							金 親 正 敏	59	医 師
東 北	青 森	中 村 裕	69	歯科医師			山 田 茂	59	医 師
		奥 い と	65	准看護師		神奈川	小 池 裕 司	75	医 師
	岩 手	佐 藤 元 美	53	医 師			桐 生 迪 介	61	医 師
	宮 城	中 川 久 秀	63	柔道整復師			山 本 詩 子	52	助 産 師
	秋 田	志 村 恭 子	68	歯科衛生士	東 京	東 京	桑 山 ト シ ミ	79	助 産 師
	山 形	土 井 和 博	52	医 師			長 谷 川 久	74	歯科医師
	福 島	阿 久 津 功	51	看 護 師					
関 東	茨 城	岩 佐 一 男	79	医 師	中部・北陸	新 潟	馬 場 千 恵 子	56	保 健 師
	栃 木	船 越 達 海	61	歯科医師		富 山	積 良 愚	78	医 師
		小野崎千鶴子	70	保 健 師			吉 田 昭 子	81	保 健 師
	群 馬	櫻 井 洋	61	医 師		石 川	生 垣 茂	75	医 師
	埼 玉	石 塚 敬 太 郎	66	医 師		福 井	松 田 昭	79	歯科医師
		田 島 恵 子	52	助 産 師			貴 志 英 生	47	医 師

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
中部・北陸	山 梨	松 川 哲 之 助	68	医 師	中 ・ 四 国	愛 媛	福 井 康 太 郎	63	医 師
		高 橋 英 尚	56	医 師			芝 五 鈴	61	歯科医師
	長 野	下 島 惇	76	医 師		高 知	中 屋 久 長	67	理学療法士
							東 洋 子	62	看 護 師
東 海	岐 阜	安 福 嘉 則	60	医 師	九州・沖縄	福 岡	植 田 紘 一	67	医 師
		牧 功	73	歯科医師		佐 賀	橋 爪 静 子	59	臨床検査技師
	静 岡	前 田 好 子	61	看 護 師		長 崎	中 野 文 耕	60	医 師
	愛 知	岡 島 守 春	82	鍼灸マッサージ師			坂 下 照 代	74	保 健 師
		児 島 久 治	57	理学療法士		熊 本	酒 井 保 之	65	医 師
	三 重	駒 田 慶 一	82	医 師		大 分	舩 井 眞 二	52	医 師
大 阪	大 阪	大 橋 知 行	60	理学療法士			佐 竹 孝 之	71	医 師
		森 本 哲 也	56	医 師		宮 崎	立 元 祐 保	60	医 師
近 畿	滋 賀	稲 熊 敏 広	58	医 師		鹿児島	小 野 一 夫	81	医 師
		古 川 温 子	78	医 師			土 持 喬	69	医 師
	京 都	岩 田 征 良	65	医 師		沖 縄	上 原 淳	66	歯科医師
		四 井 猛 士	67	診療放射線技師					
		西 野 英 二	59	歯科技工士					
	兵 庫	岩 崎 信 吾	56	医 師					
		武 市 和 子	63	看 護 師					
		塩 見 聰	62	歯科医師					
	奈 良	高 橋 律 子	57	助 産 師					
	和歌山	西 本 利 吉	75	医 師					
		大 嶋 仙 哉	68	医 師					
中 ・ 四 国	鳥 取	北 原 侑	64	医 師					
	島 根	江 田 伊 勢 松	57	医 師					
		萬 代 恵 治	56	医 師					
	岡 山	梶 谷 喬	74	医 師					
	広 島	村 上 不 二 雄	83	医 師					
		浅 野 弘	81	医 師					
	山 口	綿 貫 専 二 郎	82	医 師					
		江 村 陽 子	61	看 護 師					
	徳 島	足 立 克 仁	59	医 師					
		中 野 美 知 代	60	看 護 師					
		亀 山 陽 代	64	看 護 師					
	香 川	下 名 茂	58	看護助手					
	愛 媛	金 岡 光 雄	54	医 師					

第36回 医療功労賞 平成19年

国内部門

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
北 海 道	北海道	山 田 晃	62	理学療法士	中 ・ 四 国	島 根	加 藤 重 陽	73	医 師
東 北	岩 手	伊 藤 恵 子	66	歯科衛生士		広 島	釈 舎 龍 夫	79	医 師
関 東	群 馬	藤 田 と み	76	保健師・助産師		香 川	石 橋 紀 子	59	薬剤助手
	千 葉	森 川 二 郎	80	医 師		高 知	梶 原 和 歌	66	看護師・保健師
中部・北陸	新 潟	姫 野 達 雄	59	医 師	九 州 ・ 沖 縄	長 崎	豊 島 ミ ツ ル	69	准看護師
	富 山	室 山 若 子	78	指圧師・助産師		沖 縄	伊 佐 幸 子	75	看 護 師
	石 川	伊 藤 喜 祐	80	医 師					
近 畿	京 都	張 京	50	医 師					
	兵 庫	熊 野 公 子	66	医 師					

第36回 都道府県医療功労賞 平成19年

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
北 海 道	北海道	丹 呉 壽 男	59	医 師	関 東	栃 木	三 木 一 郎	60	歯科医師
		山 田 晃	62	理学療法士		群 馬	藤 田 と み	75	保 健 師
		宮 田 修	56	臨床検査技師			狩 野 和 夫	75	医 師
		貝 田 富 子	59	保 健 師		埼 玉	山 田 千 代 子	86	助 産 師
東 北	青 森	八 谷 順 子	56	准看護師			新 幸 江	51	看 護 師
		鈴 木 竹 一	75	医 師			清 水 巖	71	医 師
	岩 手	伊 藤 恵 子	66	歯科衛生士		千 葉	森 川 二 郎	80	医 師
		櫻 場 栄 子	52	保 健 師			板 垣 千 恵 子	78	看 護 師
	宮 城	矢 吹 セ ヅ 子	69	保 健 師			青 木 謹	73	医 師
	秋 田	大 竹 悦 子	59	言語聴覚士			伊 良 部 徳 次	58	医 師
		遠 藤 博 之	71	医 師		神 奈 川	中 島 克	75	医 師
	山 形	阿 部 吉 弘	54	医 師			角 野 禎 子	68	医 師
	福 島	赤 塚 公 寿	54	歯科医師	東 京	東 京	加 賀 美 妙 子	71	看 護 師
		渡 辺 仁 子	53	保 健 師			金 澤 茂 雄	64	鍼 灸 師
関 東	茨 城	若 松 健 一	68	歯科医師			津 島 セ ヅ 子	82	助 産 師

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
中部・北陸	新 潟	姫 野 達 雄	59	歯科医師	中 ・ 四 国	山 口	原 田 佳 子	59	保 健 師
	富 山	室 山 若 子	78	指圧師・助産師			藤 山 純 一	50	医 師
		堀 實 子	79	保 健 師		徳 島	藤 家 豊 美	51	看 護 師
	石 川	伊 藤 喜 祐	80	医 師		香 川	石 橋 紀 子	58	薬剤助手
		丸 田 和 夫	56	理学療法士		愛 媛	清 水 吟 一 郎	56	歯科医師
	福 井	梶 田 富 美 子	81	助 産 師			菊 地 健 夫	64	医 師
		白 崎 源 有	83	歯科医師		高 知	吉 川 清 志	55	医 師
	山 梨	武 者 吉 英	72	医 師			梶 原 和 歌	66	看護師・保健師
		島 田 和 哉	69	医 師	九 州 ・ 沖 縄	福 岡	松 本 素 子	51	医 師
		江 口 英 雄	64	医 師		佐 賀	富 永 敬 二	57	柔道整復師
	長 野	熊 谷 睦	82	医 師		長 崎	田 坂 章 吾	77	医 師
		志 田 方 子	79	医 師			豊 島 ミ ツ ル	68	准看護師
東 海	岐 阜	片 山 洋 平	86	医 師		熊 本	西 原 重 剛	62	医 師
	静 岡	川 渕 清 子	82	助 産 師		大 分	戸 高 勝 之	52	歯科医師
		伊 藤 千 佳 子	50	保 健 師			池 田 京 二	70	理学療法士
	愛 知	加 藤 善 吉	77	柔道整復師		宮 崎	金 丸 吉 昌	53	医 師
		大 澤 昭 吉	79	歯科技工士			吉 行 美 智	78	保 健 師
		川 原 啓 美	79	医 師		鹿 児 島	吉 井 三 郎	99	医 師
	三 重	三 木 清 己	78	医 師		沖 縄	伊 佐 幸 子	75	看 護 師
大 阪	大 阪	白 川 恵 俊	58	医 師			伊 波 徹	66	歯科医師
		前 田 求	58	医 師					
近 畿	滋 賀	野 崎 昭 彦	53	医 師					
	京 都	川 口 正 典	76	歯科医師					
		徳 山 石 夫	78	医 師					
		張 京	50	医 師					
	兵 庫	砂 治 國 隆	55	歯科医師					
		熊 野 公 子	65	医 師					
		岩 越 美 恵	57	医 師					
	奈 良	平 田 幸 子	56	助 産 師					
	和 歌 山	酒 井 宏 巳	66	医 師					
		羽 山 敬 子	59	保 健 師					
中 ・ 四 国	鳥 取	中 野 治	80	医 師					
	島 根	加 藤 重 陽	73	医 師					
	岡 山	諸 岡 美 知 子	61	医 師					
	広 島	釈 舎 龍 夫	79	医 師					

第35回 医 療 功 労 賞 平成18年

国内部門

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
東 北	青 森	奥 口 昭 三	80	医 師	近 畿	和歌山	宮本トシコ	79	看 護 師
	宮 城	石 井 厚	78	医 師					
	秋 田	渡 部 侃	79	医 師	中 ・ 四 国	島 根	岩 田 貞 男	79	医 師
	福 島	山田ナカ子	72	助 産 師			岡 山	周 洋 子	57
関 東						愛 媛	山 崎 康 郎	69	歯科医師
	茨 城	粉 川 克 己	65	医 師	九州・沖縄		佐 賀	清 川 俊 彦	62
栃 木	若 林 宏 雄	78	歯科医師			鹿児島	田 上 容 正	71	医 師
東 京	東 京	冬 木 博 子	62	看 護 師					
中部・北陸	石 川	山 本 俊 夫	60	あん摩マッサージ、鍼灸師	海外部門				
東 海					フランス		太 田 博 昭	57	医 師
	愛 知	早 川 良 子	76	助 産 師	ベトナム、マレーシア		藤 井 寅 夫	80	医 師
	三 重	神 谷 齊	67	医 師	ベトナム		小 山 道 夫	59	NGO代表

海外部門

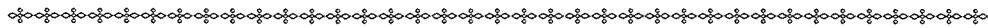
フランス	太 田 博 昭	57	医 師
ベトナム、マレーシア	藤 井 寅 夫	80	医 師
ベトナム	小 山 道 夫	59	NGO代表

第35回 都 道 府 県 医 療 功 労 賞 平成18年

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	
北 海 道	北海道	長谷川美栄子	58	看 護 師	関 東	埼 玉	吉 原 忠 男	71	医 師	
		高 橋 善 雄	62	理学療法士				大 井 幸 子	70	助 産 師
東 北	青 森	奥 口 昭 三	80	医 師				島 村 寛 子	57	看 護 師
		柴 田 治 子	68	看 護 師		千 葉	清 水 文 雄	80	医 師	
	岩 手	大光テイ子	54	保 健 師			磯 部 勝 見	64	医 師	
		高橋美紀子	57	保 健 師			松 崎 哲 夫	52	臨床検査技師	
	宮 城	諸 根 彬	63	医 師	神奈川	黒河内三郎	83	医 師		
		石 井 厚	78	医 師		宮 川 政 久	69	医 師		
	秋 田	渡 部 侃	78	医 師	東 京	東 京	冬 木 博 子	62	看 護 師	
	山 形	梅 津 清 子	56	保 健 師				米 澤 て る	82	助 産 師
福 島	松本富美子	52	保 健 師				高 野 笑 子	73	看 護 師	
		山田ナカ子	72	助 産 師	中部・北陸	新 潟	津 端 正 子	58	保 健 師	
関 東	茨 城	粉 川 克 己	65	医 師		富 山	高 櫻 英 輔	66	医 師	
	栃 木	若 林 宏 雄	78	歯科医師				高 柳 尹 立	77	医 師
	群 馬	高 橋 和 子	59	保 健 師		石 川	白 藤 勲	68	医 師	

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
中部・北陸	石 川	村 本 信 吾	65	医 師	中 ・ 四 国	香 川	石 川 昭 子	57	保 健 師
		山 本 俊 夫	60	あん摩マッ ッサージ、鍼灸師		香 川	松 岡 悦 子	55	准看護師
	福 井	印 牧 静 一	82	歯科医師		愛 媛	山 崎 康 郎	69	歯科医師
		中 嶋 恵 子	50	看 護 師			永 松 昭 生	76	医 師
	山 梨	黒 澤 駿 光	67	医 師			木 村 隆 徳	76	医 師
	長 野	原 恒 男	80	医 師		高 知	浜田加代子	62	保 健 師
						新 谷 美 智	52	管理栄養士	
東 海	岐 阜	水 口 和 子	84	医 師	九州・沖縄	福 岡	中村たまみ	55	准看護師
	静 岡	竹 内 キ ク	80	助 産 師		佐 賀	清 川 俊 彦	62	臨床検査 技師
		畠 中 智 代	60	看 護 師		長 崎	進 藤 和 彦	68	医 師
		柴 田 稔	61	医 師			白 濱 敏	58	医 師
	愛 知	早 川 良 子	76	助 産 師			松野下 登	81	医 師
		塩之谷巧嘉	54	理学療法士		熊 本	桑 原 康 隆	80	医 師
三 重	神 谷 齊	67	医 師			田 邊 悦 子	72	助 産 師	
大 阪	大 阪	尾 崎 貞 宣	60	歯科医師			江 崎 真 澄	53	医 師
		大 石 隆 子	59	看 護 師		大 分	小 野 庄 治	70	薬 剂 師
		平 山 篤 志	54	医 師		宮 崎	渡 邊 勢 子	80	助 産 師
近 畿	滋 賀	安藤紀久子	59	保 健 師		赤木ナツエ	89	保 健 師	
		中川富美江	56	保 健 師	鹿 児 島	濱 田 サ ワ	91	歯科医師	
	京 都	小 牟 禮 修	53	医 師		田 上 容 正	71	医 師	
		浦 出 晃 則	66	医 師	沖 縄	前田須加子	73	看 護 師	
		中江登志雄	82	医 師		伊 波 富 夫	62	歯科医師	
		吉 田 勉	80	診療放射 線技師					
	兵 庫	山 田 至 康	57	医 師					
	奈 良	上 浪 淳	83	医 師					
	和歌山	廣 内 幸 雄	53	医 師					
		深 見 文 代	80	助 産 師					
		宮本トシコ	79	看 護 師					
		今 出 徹	55	医 師					
中 ・ 四 国	鳥 取	高 見 徹	57	医 師					
	島 根	岩 田 貞 男	79	医 師					
	岡 山	周 洋 子	57	准看護師					
	広 島	児 玉 技 郎	81	医 師					
		田 中 芳 夫	62	医 師					
	山 口	吉本喜代乃	55	看 護 師					
	徳 島	三 村 経 夫	59	医 師					

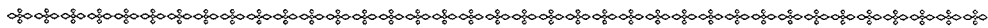
第34回 医 療 功 労 賞 平成17年



国内部門

〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	
北 海 道	北海道	縄 井 詠 子	55	保 健 師	近 畿	滋 賀	轟 清 子	53	看護師・保健師	
						兵 庫	上 田 登 子	58	精神保健福祉士	
						奈 良	横 林 宜 博	68	医 師	
	東 北	岩 手	中 里 順 子	55	保 健 師	中 ・ 四 国	山 口	長 沼 芳 季	78	医 師
宮 城		鈴 木 美 枝	75	カウンセラー			愛 媛	米 田 征 司	63	歯科医師
秋 田		佐 藤 フ ヨ	64	理学療法士						
			大久保俊治	63	医 師	九州・沖縄	熊 本	徳 永 ユ リ	78	助 産 師
	福 島	馬 場 公 江	54	保 健 師			沖 縄	高 江 洲 正 勝	61	歯科医師
関 東	群 馬	齋 藤 直 幹	63	医 師						
中部・北陸	新 潟	柳 原 俊 雄	56	医 師	海外部門	中央アフリカほか	徳 永 瑞 子	58	看護師・助産師	
	福 井	田 中 直 恵	52	看 護 師		ケニア、ラオスほか	小 早 川 隆 敏	62	医 師	
東 海	岐 阜	田 口 尚	72	薬 剤 師						

第34回 都 道 府 県 医 療 功 労 賞 平成17年



〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉
北 海 道	北海道	縄 井 詠 子	55	保 健 師	関 東	群 馬	砂 長 武 志	71	医 師
		堀 内 千 尋	57	看 護 師			齋 藤 直 幹	63	医 師
東 北	青 森	川 崎 亮 一	80	医 師	埼 玉		中 川 廣 二	58	看 護 師
		千 葉 悦 子	67	看 護 師			羽 鳥 雅 之	69	医 師
	岩 手	伊 保 内 利 一	57	歯 科 医 師			渡 辺 ア サ 子	73	保 健 師
		中 里 順 子	55	保 健 師			千 葉	杉 岡 昌 明	68
	宮 城	鈴 木 美 枝	75	カ ウ ン セ ラ ー	神 奈 川		加 部 恒 雄	63	医 師
		秋 田	佐 藤 フ ヨ	64			理 学 療 法 士	池 田 正 一	66
		佐 々 木 セ イ 子	80	医 師			山 崎 登 志 雄	73	医 師
		大 久 保 俊 治	63	医 師			河 村 康 子	66	看 護 師
	山 形	小 林 佐 枝 子	54	保 健 師			宮 下 美 代 子	52	助 産 師
		福 島	星 美 佐 子	53			保 健 師	小 野 寺 美 津 雄	72
		馬 場 公 江	54	保 健 師	東 京	東 京	福 岡 光 子	83	助 産 師
関 東	茨 城	櫻 山 拓 雄	60	医 師			中 部 ・ 北 陸	新 潟	柳 原 俊 雄
		栃 木	福 田 新 一	54	歯 科 医 師	佐 藤 和 美			55



〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	〈地区〉	〈都道府県名〉	〈氏 名〉	〈年令〉	〈業種〉	
中部・北陸	富 山	畠 山 文 子	77	保 健 師	中 ・ 四 国		平 田 敏 夫	74	医 師	
		麥谷トシ子	77	助 産 師			山 口 長 沼 芳 季	78	医 師	
	石 川	井 端 孝 義	68	医 師			徳 島 竹 内 美 恵 子	64	教 授 (助産師)	
	石 川	横 井 克 己	55	医 師				三 並 志 磨 子	58	看 護 師
	福 井	田 中 直 恵	52	看 護 師			香 川 瓜 生 利 治	57	調 理 師	
		澤 井 與	80	歯科医師			愛 媛 古 川 敬 次 郎	80	医 師	
	山 梨	清 水 天	67	医 師				米 田 征 司	63	歯科医師
	長 野	林 茂 筆	59	医 師				村 上 武 博	55	歯科医師
東 海	岐 阜	青 島 和 也	74	歯科医師	九州・沖縄	福 岡	成 澤 哲 夫	75	薬 剂 師	
		田 口 尚	72	薬 剂 師				植 田 清 一 郎	58	医 師
	静 岡	門 奈 芳 子	76	助 産 師			佐 賀	成 田 八 郎	68	臨床検査 技師
		土 屋 清 子	56	看 護 師				宮 原 和 明	59	理学療法士
	愛 知	水 野 正 子	55	薬 剂 師			長 崎	松 村 哲 男	75	医 師
	三 重	熱 田 裕	68	医 師				高 森 康 壽	52	歯科医師
	中 道 政 子	60	看 護 師		熊 本	一 二 三 速 夫	82	医 師		
大 阪	大 阪	松 尾 雅 基	58	診療放射 線技師			藤 川 勝 弘	79	医 師	
		小 林 克 也	65	医 師			徳 永 ユ リ	78	助 産 師	
		角 谷 久 美 代	51	歯科衛生士		大 分	菅 沼 育 雄	55	小児科医師	
		上 田 節 子	56	理学療法士		宮 崎	柴 田 和 哉	59	医 師	
		山 崎 孝 博	58	診療放射 線技師		鹿 児 島	登 山 弘	59	歯科医師	
		松 本 富 重 美	59	看 護 師		沖 縄	伊 野 波 苗 子	73	看 護 師	
近 畿	滋 賀	轟 清 子	53	看護師・ 保健師			高 江 洲 正 勝	61	歯科医師	
		中 村 す み 子	52	保 健 師						
	京 都	野 添 和 子	77	歯科衛生士						
	兵 庫	段 武 夫	73	医 師						
		上 田 登 子	58	精神保健 福祉士						
	奈 良	横 林 宜 博	68	医 師						
	和 歌 山	森 田 裕 司	52	医 師						
		高 田 常 一	59	理学療法士						
		岡 崎 寿 美 恵	58	看 護 師						
中 ・ 四 国	鳥 取	宮 川 鐵 男	82	医 師						
		陶 山 吉 朗	78	医 師						
	岡 山	滝 本 富 美 江	60	看 護 師						
		佐 藤 誠	55	臨床検査 技師						
	広 島	村 尾 文 規	65	医 師						